

日本新生児成育医学会 2021年度 第1回理事会議事録

日 時：2020年12月10日（木）16：00～17：15

開催方法：Web会議システム WebEX を利用

出席予定者：諫山哲哉，茨 聡，大曾根義輝，河井昌彦，日下 隆，河野由美，高橋尚人，長 和俊
中西秀彦，早川昌弘，廣間武彦，福原里恵，細野茂春，水野克己，森岡一朗，芳本誠司
和田和子，和田雅樹（各理事），中村友彦（監事），北東 功，松本 敦，東海林宏道（各幹事）

欠席予定者：長谷川久弥，飛弾麻里子（各理事），与田仁志（監事）

（敬称略）

議 事：

1. 議長選出

2. 協議事項

1) 理事長・副理事長の件（早川理事）

理事長に早川昌弘理事・副理事長に高橋尚人理事が就任することが全会一致で承認された。

2) 委員会委員選任の件（早川理事長）

2021年度委員会委員が全会一致で承認された。

3) 委員会運営規定の件（早川理事長）

規定案について全会一致で承認された。

4) 慶弔に関する規程の件（和田理事）

慶弔に関する取扱いの基準を定めた内規が全会一致で承認された。

5) 学会員の臨床研究支援の件（早川理事長）

学会員より自主臨床研究について資金を含めた支援依頼があり、今後、どのような支援が行えるか協議を行った。学会が財政難に直面しているため支援することは難しいが、学会を通して企業に資金援助をいただく、学術集会で研究支援のセミナー等を行う、研究計画書の書き方や科研費の申請方法のレクチャー、研究者同士の仲介役などを行うことなどについて学術委員会と総務委員会にて検討を行うこととなった。

6) 日本小児科学会雑誌への分科会総説執筆者選考方法の件（早川理事長）

毎年春に日本小児科学会より分科会に推薦総説の執筆依頼が来ており今回推薦した1編が小児科学会より大幅な修正依頼があった件について、学会内での論文チェック体制を強化し、今後、以下の手順で進めることとなった。

①今後、理事から推薦を受け付ける際に、執筆候補者の業績一覧を提出いただく。その内容を学術委員長、学会誌編集委員長、理事長にて協議を行う。

②その後理事会で承認を得る。

③原稿が届いたら、学会誌編集委員会（委員長と専門分野の委員）と学術委員会で確認を行う。理事長が最終チェックを行う。

7) サーファクテン新型採液針の件（大曾根理事）

サーファクテン採液針が今後 ISO の基準に入れ替わることにに関して、使い方の案内を学会が監修することになっており、委員会で検討された案が全会一致で承認された。また、新しいサーファクテン採液針と各メーカーのシリンジとの組み合わせで採液した実験の結果、どのメーカーのものも問題なく使用できるとのこの報告があった。

8) 第65回学術集会の件（長会長）

・来年5月に COVID-19 が収束しているか不明のため全て Web 開催とする提案があり、全会一致で承認さ

れた。一般演題の口演・ポスターの発表データについては来年1月中にご提出いただく予定である。Web開催のメリットもある反面、会場で議論できないデメリットもある。機器展示はバーチャル化し、企業には引き続き協賛していただけるよう対応する。また、非会員にも参加していただけるよう工夫していきたい。今後、Web開催が主流になることも考えられるため、ノウハウを蓄積していく。

- 学術集会の現地開催がなくなることで新入会者が減っている。新入会者の確保のため Webinar の開催についても検討を行う。

2. 理事長報告

1) 理事会開催時期・開催方法の件

2月・5月・8月・11月に Web での開催を予定していて、日程についてはその都度調整を行う予定である。

2) 登記手続きの件

新役員の登記に必要な書類を理事・監事の先生方にお送りしているため、早めに返信封筒にてご返送をお願いしたい。

3) 2021年度PAS-JPS若手医師交換プログラムの件

全会員から応募を募り、学術委員会で選考し、本学会から玉井 圭先生（岡山医療センター）を小児科学会に推薦した。

4) 日本小児科学会より新型コロナウイルスワクチンの接種順位の検討依頼があった件

感染対策予防接種委員会にて検討し、在宅呼吸器や在宅酸素管理をしている児の両親や介護者、早産児を育てている両親や家族への接種を行うことにより、予防していただきたい旨の回答を行った。

5) 令和4年度診療報酬改定の件

- 本日が第一次提案書の締め切りのため、プレネイタルカウンセリング加算、一酸化窒素吸入療法の適応拡大、高度NICU加算の提案を行った。ハイリスク児カウンセリング加算、先天性心疾患に対する低酸素療法、アンバウンドビリルビン測定の適応拡大、在宅ハイフローセラピーについては他学会が提案したものへの共同提案とした。また、血清コレステロール測定については小児神経学会から依頼があり共同提案を行った。内保連ヒアリングは2021年4～5月、厚労省提出が2021年5月の予定で進められる。
- 診療報酬改定の要望を通すためには、緻密なデータを集積していく必要があるとの意見が出された。なお、NICU加算の疾患と施設基準の要件については、現状とそぐわないところがあるため検討を行っている。